

令和3年度 鹿児島大学工学部推薦入試II 試験問題（建築学科）

『空間構成』（その1）

出題意図

（問題1 出題意図）

立方体と帯材の2つの材料を用い、その形態的特性を活かした『開放的な建築空間』を想像し、立体的な造形物をどのように構成するかを求めた出題である。この出題では、建築空間を構成するために立方体を組積したり帯材を用いて架構したりする必要があるため、作品の造形的な資質以外に構造的なバランス感覚も必要とされる。試験問題用紙に記載された制作条件を読み解き、採点基準に沿った作品を試験時間内に構想し、配付された用具を用いて完成させることが必要とされる。

令和 3 年度 鹿児島大学工学部推薦入試 II 試験問題（建築学科）

『空間構成』（その 2）

出題意図

（問題 2 出題意図）

問題 1 で作成した 3 次元の立体造形物を 2 次元の画面に表現することを求めた出題である。奥行きや広がりを表現できる画面上の配置構成、材質の表現、陰影の表現、プロポーションの整合性などの素描力が必要とされる。試験問題用紙に記載された制作条件を読み解き、採点基準に沿った作品を試験時間内に描画が必要とされる。